



10月度の御書

「一生成仏抄」

御文

深く信心を発して日夜
朝暮に又懈らず磨くべし
何様にしてか磨くべき只
南無妙法蓮華經と唱へた
てまつるを是をみがくと
は云うなり (御書384ページ)

意味

深く信心をふるい起こして、日々、朝も夕も、なまけることなく自分の心をみがいていきなさい。では、どのようにして、みがいたらよいのでしょうか。ただ南無妙法蓮華經と唱えること、これが自分の心をみがくことなのです。

お題目を唱えて、自分の心をピカピカに！

ボクは、ライオン博士のキング君。今月もボクといっしょに御書を学ぼう！

みんなは今日、自分の顔やすがたを鏡で見たかな？ボクはさっき見たら、おやつが口元についてたよ。あぶない、あぶない。まあ、この話はさておいて……。鏡って、ピカピカだと自分のすがたがはっきりと映るけど、くもっていたら、ぼんやりとしか映らないよね。でもそんな時、「ゴシゴシ、キュッキュッ」ってみがくとピカピカになって、はっきりと映るよね。

なぜこんな話をしたかという、今回のキーワードはズバリ、この「みがく」という言葉なんだ。

いったい何をみがくのかというと、それは「心」。心をみがく方法を教えられているのが、今回の御文なんだよ。

自分の心は1つ。だけど「がんばるぞー！」と、元気がいっぱい心が「晴れ」の時もあれば、「いやだな」「もうムリだ」と、元気がでない「くもり」の時もあるね。

でも、それは「くもった鏡」のようなものなんだ。みがけば「くもり」が晴れて、何があっても負けない、

明るい太陽の心、があらわれてくるんだよ。この「心」をみがく方法が、「南無妙法蓮華經」のお題目なんだ！

どんな時もお題目を唱えれば、心を強くし、かがやかせていける。自分の中にある「負けない心」「思いやりの心」「決意の心」が、無限にわいてくるんだよ！日蓮大聖人は、お題目を唱える時の大事なポイントを、2つ教えてくださっているよ。

1つ目は「深く信心を発して」とあるように、深く決意をして一生けんめいに祈ること。「絶対にこうする！」と、強い心でお題目を唱えていこうね。

2つ目は「日夜朝暮に又懈らず」とあるように、毎日挑戦すること。鏡は放っておくと、くもってしまう。心も同じだよ。毎日みがき続けることが大切なんだ。池田先生は語られているよ。

「題目は「獅子吼」といって、百獣の王・ライオンのおたけびのように、絶対に負けない力です」「まず、題目三唱からでいい。どんななやみも、題目を唱えれば、全部、自分の力になっていきます」心をみがくお題目に挑戦して、自分らしくかがやいていこうね！